

「里山の維持再生ゾーン」の実現に向けて

～市民協働による持続可能なまちづくりのモデルケースとして～

里山での楽しみを見つけましょう 第1回市民フォーラムをおこないます

秋が近づいています。秋の里山は山が色づき、さまざまな恵みを楽しめる場所になります。

里山の大切さを学んでみたい方や、既に活動されている内容を知ってみたい方、さらには、実際に活動に参加してみたい方など、さまざまな方の参加をお待ちしています。

なお、詳しい内容は11月号広報および市ホームページでお知らせします。

現在、市では開発が中止となった、学研木津北地区において、都市部の持続的発展に必要な自然環境を再生保全する「里山の維持再生ゾーン」の実現に向けた取り組みを進めています。

今回のフォーラムでは、学研木津北地区における地域資源(文化や自然)を評価し、多くの生きものが暮らす環境の維持向上に必要な里山保全活動について一緒に考えます。

- と き：11月4日(日) 午後
ところ：市役所1階 住民活動スペース
内 容(予定)
○学識者による、里山の重要性についての基調講演
○活動団体紹介 等



カスミサンショウウオの放流



カスミサンショウウオ

里山保全に向けた取り組みを進めています

木津川市地域連携保全活動計画策定に向けた取り組みをはじめています。

6月30日：第1回ワークショップ・7月21日：第2回協議会を開催

市では、今年2月に策定した学研木津北・東地区土地利用計画に基づき、地区の里山の維持再生ゾーンで、地域における多様な主体の連携による、生物の多様性の保全のための活動を進めるため、木津川市地域連携保全計画の策定を目指しています。

この保全活動計画では、計画区域や計画目標、活動内容、計画期間等を定める必要があり、保全活動に向けた取り組み等をおこなっている団体と一緒にワークショップ等を行いました。

今後も、このような取組を通じて、情報を共有し、より地域にあった保全活動計画策定を目指していきます。

木津川市地域連携保全活動計画とは・・・

「地域における多様な主体の連携による生物の多様性の保全のための活動の促進等に関する法律」に基づく計画です。

生物の多様性が、地域の自然的社会的条件に応じて保全されることから、その地域における多様な主体が連携しておこなう活動を促進することで、豊かな生物の多様性をはじめ、地域の自然や文化の保全を目的としています。



第2回協議会



ワークショップ